

PHILIPS

ヘッドフォン

2000 シリーズ

TAT2236



取扱説明書

で製品を登録してサポートを受けましょう。

www.philips.com/support

コンテンツ

1	安全上のご注意	2
	聴覚の安全	2
	一般情報	2

2	お使いの完全ワイヤレ スイヤフォン	3
	付属品	3
	その他のデバイス	3
	お使いの完全ワイヤレスイ ヤフォンの概要	4

3	はじめに	5
	バッテリーの充電	5
	初めてイヤフォンを、お使いの Bluetoothデバイスとペア リングします	5
	イヤフォンを他のBluetooth デバイスにペアリングします	6

4	ヘッドフォンの使用	7
	イヤフォンをお使いのBluetooth デバイスに接続する	7
	電源オン/オフ	7
	通話と音楽の管理	7
	LEDインジケータのステータス	8
	音声アシスタント	8

5	イヤフォンのリセット	9
---	------------	---

6	技術仕様	10
---	------	----

7	通知	11
	適合宣言	11
	使用済み製品とバッテリーの廃棄	11
	内蔵バッテリーの取り外し	11
	EMFへの準拠	12
	環境情報	12
	準拠通知	12

8	商標	14
---	----	----

9	よくあるご質問	15
---	---------	----

1 安全上のご注意

聴覚の安全



⚡ 危険

- 聴覚の損傷を避けるために、大音量でヘッドフォンを使用する時間を制限し、音量を安全なレベルに設定してください。音量が大きいくほど、安全な視聴時間は短くなります。

イヤフォンを使用するときは、次のガイドラインに従ってください。

- 適切な音量で、適切な時間だけ試聴してください。
- 耳が慣れてきますので、音量を上げ続けないように注意してください。
- 周囲の音が聞こえないほど音量を大きくしないでください。
- 危険を伴う場合には、使用を慎重に行うか、一時的に使用を中止してください。
- イヤフォンやヘッドフォンの音圧が高いと難聴になることがあります。
- 運転中に両耳をふさがれたイヤピースを使用することは推奨されておらず、一部の地域では違法となる場合があります。
- 安全のため、交通機関や危険が予想される環境にいるときは、音楽や電話に気を取られないようにしてください。

一般情報

損傷や不具合を避けるために：

⚠ 注意

- ヘッドフォンを高温に晒さないでください。
- ヘッドフォンを落とさないでください。
- ヘッドフォンには、水滴や水しぶきがかからないようにしてください。
- ヘッドフォンを水の中に入れてください。
- アルコール、アンモニア、ベンゼン、研磨剤を含む洗浄剤は使用しないでください。
- 清掃が必要な場合は、柔らかい布で拭いてください。必要に応じて、水または薄めた中性洗剤を少量加えて湿らせ、製品を清掃してください。
- 内蔵バッテリーは、日光、火災等の高温にさらされないようにしてください。
- バッテリーを不適切に代用すると爆発の危険性があります。同じまたは同等のタイプでのみ置換してください。
- バッテリーを火の中や高温のオープンに捨てたり、機械的に押しつぶしたり切断したりすると、爆発する可能性があります。
- 極端に高温の周囲環境に電池を放置すると、爆発や可燃性の液体やガスの漏出を引き起こす可能性があります。
- 極端に低い気圧にさらされた電池は、爆発や可燃性の液体やガスが漏れる恐れがあります。

使用・保管時の温度・湿度について

- 温度が $-20^{\circ}\text{C}(-4^{\circ}\text{F}) \sim 50^{\circ}\text{C}(122^{\circ}\text{F})$ の範囲内で使用または保管してください。(最大90%の相対湿度)
- 温度が $0^{\circ}\text{C}(32^{\circ}\text{F}) \sim 45^{\circ}\text{C}(113^{\circ}\text{F})$ の範囲内で使用または保管してください。(最大90%の相対湿度)
- バッテリーの寿命は、高温または低温の条件下で短くなる場合があります。
- 安全装置を無効にする可能性のある誤ったタイプのバッテリーとの交換(例えば、一部のリチウム電池タイプの場合)。

2 お使いの完全ワイヤレスイヤフォン



クイックスタートガイド



海外保証



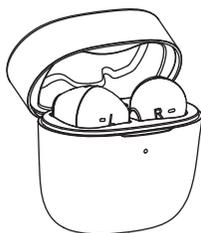
安全説明書

ご購入頂きありがとうございます。そしてフィリップスへようこそ!フィリップスが提供するサポートをすべてご利用いただくには、お客様の製品を www.philips.com/support からご登録いただく必要があります。

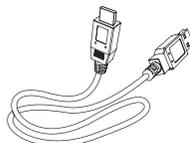
フィリップス完全ワイヤレスイヤフォンは、次のようにご利用いただけます:

- 便利なワイヤレスハンズフリーでの通話を楽しめます。
- ワイヤレスで音楽を楽しみながら操作できます。
- 通話と音楽の切り替えができます。

付属品



フィリップス完全ワイヤレスイヤフォン
Philips TAT2236



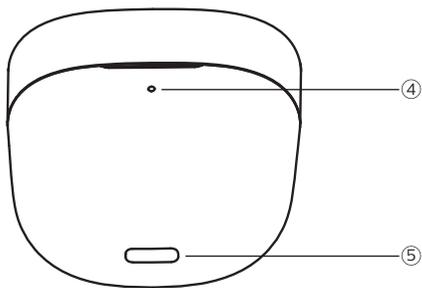
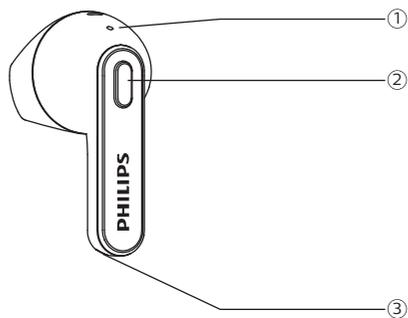
USB-C充電ケーブル(充電のみ)

その他のデバイス

Bluetoothに対応し、イヤフォン(10ページの「技術仕様」を参照してください)と、互換性のある携帯電話またはデバイス(ノートパソコン、PDA、Bluetoothアダプタ、MP3プレーヤーなど)。

お使いの完全ワイヤレスイヤフォンの概要

L / R



- ① LEDインジケータ(イヤフォン)
- ② 多機能ボタン
- ③ マイク
- ④ LEDインジケータ(充電ケース)
- ⑤ USB充電スロット

3 はじめに

バッテリーの充電

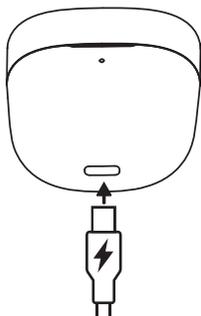
☰ 注釈

- 初めてヘッドフォンを使用する前に、イヤフォンを充電ケースに入れてバッテリーを2時間充電し、バッテリーの容量と寿命を最適化します。
- 損傷を避けるため、付属品USB-C充電ケーブルのみを使用してください。
- イヤフォンを充電用に接続すると、イヤフォンの電源がオフになるので、イヤフォンを充電する前に通話を終了してください。

充電中

USBケーブルの一端を充電ケースに、もう一端を電源に接続します。

- ↳ 充電ケースが充電を開始します。
- 充電プロセスは、前面パネルのLEDライトによって確認されます。
- 充電ケースが完全に充電されると、ライトが消えます。

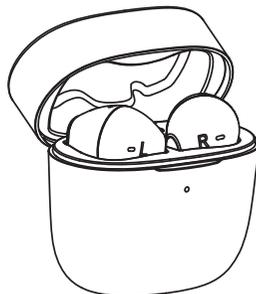


✻ ヒント

- 充電ケースは、イヤフォンを充電するための携帯用バックアップバッテリーとして機能します。充電ケースが完全に充電されると、イヤフォンを2回分フル充電することができます。
- 通常、USBケーブルを使用するフル充電には2時間かかります(イヤフォンまたは充電ケース)。

初めてイヤフォンをお使いのBluetoothデバイスとペアリングします

- 1 イヤフォンが完全に充電され、電源がオフになっていることを確認します。
- 2 充電ケースのトップカバーを開きます。



- ↳ 両方のイヤフォンのLEDが白と青で交互に点滅します。
- ↳ イヤフォンはペアリングモードになり、Bluetoothデバイス(例えば携帯電話)とのペアリングの準備状態になります。

- 3 BluetoothデバイスでBluetooth機能をオンにします。
- 4 お使いのBluetoothデバイスとイヤフォンをペアリングします。Bluetoothデバイスの取扱説明書を参照してください。

☰ 注釈

- 電源を入れた後、イヤフォンが以前に接続されたBluetoothデバイスを検出できない場合は、自動的にペアリングモードに切り替わります。

次の例は、イヤフォンをBluetoothデバイスとペアリングする方法を示しています。

- 1 BluetoothデバイスのBluetoothデバイス機能をオンにして、**Philips TAT2236**を選択します。
- 2 イヤフォンのパスワードの入力を求められたら、「0000」（ゼロ4つ）を入力します。Bluetooth 3.0以降を搭載したBluetoothデバイスの場合は、パスワードを入力する必要はありません。



Philips TAT2236

イヤフォンを他のBluetoothデバイスにペアリングします

イヤフォンとペアリングしたい別のBluetoothデバイスがある場合は、以前にペアリングまたは接続された他のデバイスのBluetooth機能が、オフになっていることを確認します。
イヤフォンを耳に当てた状態で、左右同時に5秒間長押しして、ペアリングの音声ガイダンスが流れたら離します。

注釈

- イヤフォンは4つのデバイスをメモリに格納します。4台以上のデバイスをペアリングしようとする、最初にペアリングされたデバイスが新しいデバイスに置き換わります。

シングルイヤピース(モノラルモード)

モノラルで使用する場合は、充電ケースから左右どちらかのイヤピースを取り出してください。イヤピースは自動的に電源が入ります。イヤピースから「Power on」という音声が発生します。

注釈

- 充電ケースから2番目のイヤピースを取ると、お互いのイヤピースが自動的にペアリングされます。

4 ヘッドフォンの使用

イヤフォンをお使いのBluetoothデバイスに接続する

- 1 BluetoothデバイスでBluetooth機能をオンにします。
- 2 充電ケースのトップカバーを開きます。
 - ↳ 青のLEDが点滅
 - ↳ イヤフォンは、最後に接続したBluetoothデバイスを検索し、自動的に再接続します。最後の接続されているデバイスが使用できない場合は、イヤフォンはペアリングモードになります。

ヒント

- イヤフォンは、同時に1台以上のデバイスに接続することはできません。ペアリングされたBluetoothデバイスが2つある場合は、接続するデバイスのBluetooth機能だけをオンにします。
- イヤフォンの電源を入れた後に、BluetoothデバイスのBluetooth機能をオンにした場合、デバイスのBluetoothメニューにアクセスして、イヤフォンをデバイスに主導で接続する必要があります。

注釈

- イヤフォンが5分以内にどのBluetoothデバイスにも接続できなかった場合、バッテリーの寿命を節約するために自動的に電源が切れます。
- 一部のBluetoothデバイスでは、接続が自動的に行われず場合があります。その場合は、お使いのデバイスのBluetoothメニューから、イヤフォンをBluetoothデバイスに手動で接続する必要があります。

電源オン/オフ

作業	多機能ボタン	操作
イヤフォンの電源を入れる		充電ケースの蓋を開ける
イヤフォンの電源を切る		イヤピースを充電ケースに戻して蓋をする

通話と音楽の管理

音楽のコントロール

作業	多機能ボタン	操作
音楽の再生/一時停止	右/左イヤピース	1回タップする
前にスキップする	右/左イヤピース	3回タップする
音量の調節 +/-		携帯電話制御経由

通話のコントロール

作業	多機能ボタン	操作
電話に出る	右/左イヤースピーク	1回タップする
電話を切る	右/左イヤースピーク	タップしたまま長押しする
3ウェイコール中に通話を切り替える	右/左イヤースピーク	3回タップする

LEDインジケータのステータス

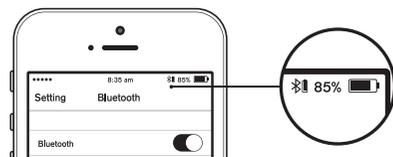
ヘッドフォンのステータス	インジケータ
イヤフォンはBluetoothデバイスに接続されています。	青のLEDが点滅します
イヤフォンがペアリング可能な状態です	青と白のLEDが交互に点滅します
イヤフォンの電源は入っているが、Bluetoothデバイスに接続されていません	白のLEDは1秒毎に点滅します (3分後に自動電源オフ)
バッテリー残量が少ない(イヤフォン)	青のLEDは5秒毎に2回点滅します
バッテリーが完全に充電されています(充電ケース)。	LEDはオフになります

充電ケースのバッテリー残量

	アンバー色
	白色
	LED消灯

BluetoothデバイスのバッテリーLEDインジケータ

イヤフォンに接続すると、Bluetoothデバイス上にバッテリーインジケータが表示されます。(携帯電話の操作方法を参照)。



音声アシスタント

作業	ボタン	操作
トリガーボイスアシスタント	右/左イヤースピーク	タップしたまま2秒間長押しする

5 イヤフォンのリセット

ペアリングまたは接続の問題が発生した場合は、次の手順に従ってヘッドセットをリセットできます。

- 1 Bluetoothデバイスで、Bluetoothメニューに移動して、**Philips TAT2236**をデバイスリストから削除します。
- 2 BluetoothデバイスのBluetooth機能をオフにします。
- 3 両方のイヤフォンを1回押して、それから5秒間長押しします。
- 4 青のLEDの点滅が終了したら、イヤフォンを充電ケースに戻し、蓋を閉めます。
- 5 「イヤフォンを使う - イヤフォンをBluetoothデバイスに接続する」の手順に従ってください。
- 6 イヤフォンをお手持ちのBluetoothデバイスとペアリングして、**Philips TAT2236**を選択してください。

6 技術仕様

- 再生時間:6時間
- 通話時間:6時間
- 待機時間:200時間
- 充電時間:2時間
- リチウムイオン電池50mAh (各イヤークラス)、リチウムイオン電池410mAh (充電ケース)
- Bluetooth バージョン:5.0
- 対応 Bluetooth プロファイル:
 - ハンズフリープロファイル-HFP
 - アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル
 - オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル
- サポートされている音声コーデック:
SBC
- 周波数範囲:2.402 ~ 2.480GHz
- 伝送出力:10dBm未満
- 動作可能範囲:最大 10メートル (33フィート)
- 自動電源オフ
- 充電用USB-Cポート
- バッテリー残量低下警告:あり

注釈

- 仕様は予告なく変更されることがあります。

7 通知

適合宣言

これにより、MMD Hong Kong Holding Limitedは、この製品が指令2014/53/EUの必須要件及びその他の関連規定に適合していることを宣言します。適合宣言はwww.p4c.philips.comからご確認ください。

使用済み製品とバッテリーの廃棄



製品は、リサイクルおよび再利用が可能な高品質の材料およびコンポーネントを使用して設計および製造されています。



製品に表示されているこの記号は、その製品が欧州指令2012/19/EUの対象であることを意味します。

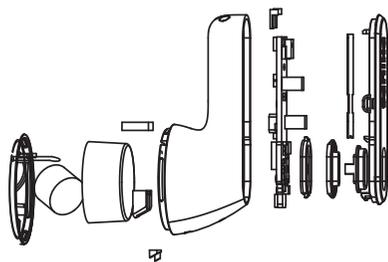


この記号の意図として欧州指令2013/56/EUの適用を受ける内蔵充電式バッテリーで、一般家庭では廃棄できないものを使用しています。充電式バッテリーを専門業者に取り外してもらうために、製品を正式な回収センターまたはフィリップスのサービスセンターに持ち込むことを強くお勧めします。電気・電子製品と充電式バッテリーの地域別回収システムについてお知らせします。地域のルールに従い、一般廃棄物と一緒に製品と充電式バッテリーを廃棄しないでください。古い製品や充電式バッテリーを適切に廃棄することで、環境や健康への悪影響を防止します。

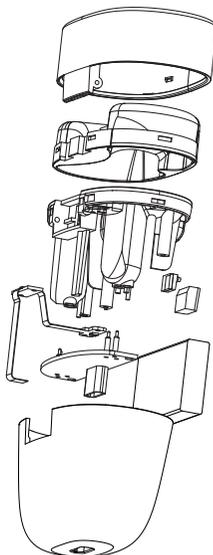
内蔵バッテリーの取り外し

お客様の国に電子製品の回収・リサイクルシステムがない場合、ヘッドフォンを廃棄する前にバッテリーを取り外してリサイクルすることで環境を保護することができます。

- 電池を取り外す前に、イヤフォンが充電ケースから外れていることを確認してください。



- バッテリーを取り外す前に、充電ケースがUSB充電ケーブルから外れていることを確認してください。



EMFのコンプライアンス

本製品は、電磁界への曝露に関して適用されるすべての規格および規制に準拠しています。

環境情報

不要な梱包はすべてなくしました。段ボール(箱)、発泡スチロール(緩衝液)、ポリエチレン(袋、保護フォームシート。)に分別しやすい梱包を心がけました。

製品は、専門会社によって解体された場合にリサイクルおよび再利用できる材料で構成されています。梱包材、使用済みバッテリー、古い機器の廃棄については、各地域の条例に従ってください。

コンプライアンスに関するお知らせ

FCC 規則、パート15に準拠しています。次の2つの条件にしたがって操作する必要があります。

1. このデバイスは有害な干渉を引き起こすことはありません。
2. このデバイスは、受信した干渉(望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む)をすべて受け入れる必要があります。

FCC法規

本装置は、テストの上、FCC規則の15部に準拠するクラスBデジタル機器の限度に適合していることが明らかにされています。これらの制限は、住宅設備における有害な干渉からの妥当な保護を提供するように設計されています。

この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、マニュアルに従って取り付けや使用を行わないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。しかしながら、特定の設置条件において、干渉が発生しないことは保証されません。この装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は(装置の電源を入れたり切ったりすることで判別できます)、次のいずれかの方法で干渉を修正することをお勧めします。

受信アンテナの方向または場所を変えます。

- 装置と受信機の距離を離します。
- 装置は、受信機が接続されているものとは異なる回路のコンセントに接続してください。
- サポートについては、ディーラーまたは経験豊富な無線/TV技術者に相談してください。

FCCの放射線被曝に関する記述:

この装置は、管理されていない環境に対して定められたFCCの放射線被曝限度に適合しています。

この送信機は、他のアンテナまたは送信機と同じ場所に設置したり、連動させたりしないでください。

注意: 法令等遵守責任者が明示的に承認していない変更・改造を行った場合、お客様の操作権限が無効になる可能性があることにご注意ください。

カナダ:

このデバイスには、カナダのイノベーション・科学経済開発省ライセンス免除 RSSIに準拠するライセンス免除送信機/受信機が含まれます。次の2つの条件にしたがって操作する必要があります。(1)このデバイスは有害な干渉を引き起こすことはありません。(2)このデバイスは、あらゆる干渉(このデバイスが望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む)をすべて受け入れる必要があります。

ICの放射線被曝に関する記述:

この装置は、管理されていない環境に対して定められたカナダの放射線被曝限度に適合しています。

この送信機は、他のアンテナまたは送信機と同じ場所に設置したり、連動させたりしないでください。

8 商標

Bluetooth

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、MMD Hong Kong Holding Limited はライセンス契約に基づいてかかるマークを使用しています。その他の商標および商標名は各所有者に帰属します。

Siri

Siriは米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。

Google

Google、Google PlayはGoogle LLCの商標です。

9 よくあるご質問

使用している Bluetoothヘッドフォンの電源がオンになりません。

バッテリー残量が少なくなっています。イヤフォンを充電してください。

BluetoothデバイスとBluetoothイヤフォンをペアリングできません。

Bluetoothが無効になっています。BluetoothデバイスのBluetooth機能を有効にして、Bluetoothデバイスの電源を入れてから、イヤフォンの電源を入れてください。

ペアリングがうまくいきません。

- 両方のイヤフォンを充電ケースに入れます。
- 以前に接続したBluetoothデバイスのBluetooth機能が無効になっていることを確認します。
- お使いのBluetoothデバイスで、Bluetoothリストから「Philips TAT2236」を削除します。
- イヤフォンをペアリングします(5ページの「初めてイヤフォンをBluetoothデバイスとペアリングする」を参照してください)。

Bluetoothデバイスでイヤフォンを検知できません。

- イヤフォンは、あらかじめペアリングされたデバイスに接続できます。その接続されているデバイスの電源を切るか、電波の届かない場所に移動させてください。
- ペアリングがリセットされているか、イヤフォンが以前に別のデバイスとペアリングされている可能性があります。取扱説明書に記載されている方法で、イヤフォンとBluetoothデバイスのペアリングを再度行ってください。(5ページの「初めてイヤフォンをBluetoothデバイスとペアリングする」を参照してください)。

BluetoothイヤフォンはBluetoothステレオ対応携帯電話に接続されていますが、音楽は携帯電話のスピーカーでのみ再生されます。

お使いの携帯電話の取扱説明書をご参照ください。[イヤフォンを通じて音楽を聞く]を選んでください。

音質が悪く、音飛びノイズが聞こえます。

- Bluetoothデバイスが動作範囲外にあります。イヤフォンとBluetoothデバイスの間の距離を縮めるか、間にある障害物を取り除いてください。
- イヤフォンを充電してください。

スマートフォンからのストリーミングが非常に遅い場合、またはオーディオストリーミングがまったく機能しない場合に、音質が低下します。

お使いのスマートフォンが(モノラル)HSP/HFPだけでなく、A2DPもサポートしていて、BT4.0x(またはそれ以上)互換であることを確認してください(10ページの「技術仕様」を参照してください)。



PhilipsおよびPhilips Shield Emblemは、Koninklijke Philips N.V.の登録商標であり、ライセンスに基づいて使用されます。本製品は、MMD Hong Kong Holding Limited またはその関連会社の責任の下に製造および販売されており、MMD Hong Kong Holding Limited が本製品に関する保証を行います。

